

2023年7月15日

『世界を知ろう』

アジアの中の日本から ～南洋の空気感～



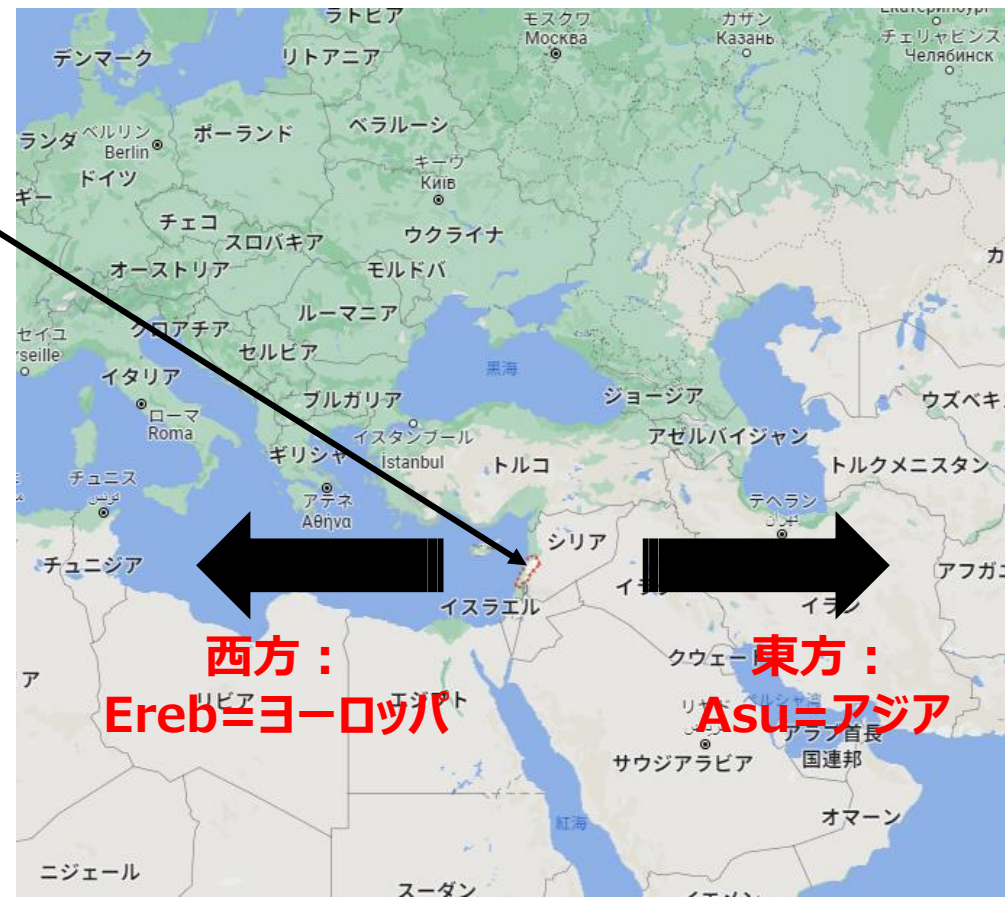
国際人をめざす会 仲 栄司

アジアとは

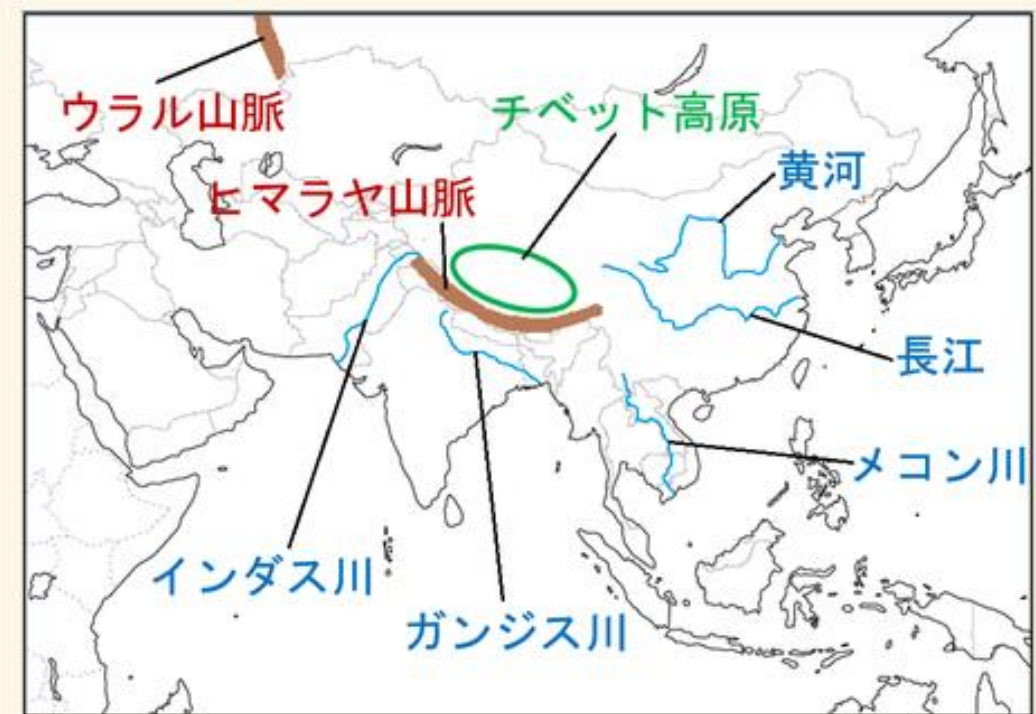
アジアという名称の起源は、古代（前11～前7世紀ごろ）地中海東部に栄えたフェニキア人が、その地より東方の地域をアスAsu（日の出る地方）、西方をエレブEreb（日の沈む地方）とよんだのが、アジアおよびヨーロッパの名称の始まりであるという。【出典：日本大百科全書】



フェニキア人の地
= 現在のレバノン



アジアの地域と地理



アジアの国々



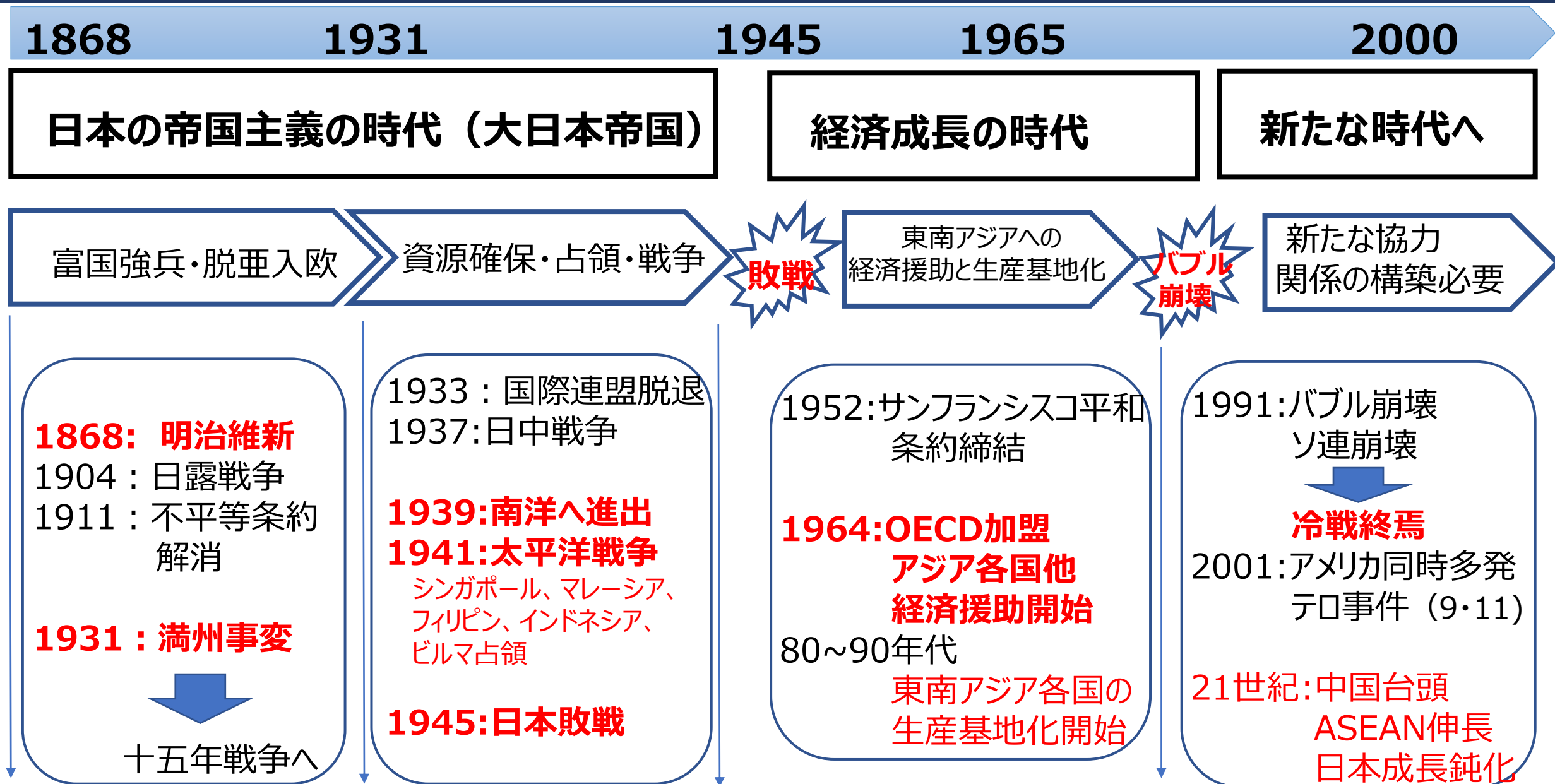
日本人のいうアジア

国連によるアジアの分類

東アジア	韓国、北朝鮮、中国、日本、モンゴル
東南アジア	インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス
南アジア	アフガニスタン、イラン、インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ
中央アジア	ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン
西アジア	アゼルバイジャン、アラブ首長国連邦、アルメニア、イエメン、イスラエル、イラク、オマーン、カタール、キプロス、クウェート、グルジア、サウジアラビア、シリア、トルコ、バーレーン、パレスチナ、ヨルダン、レバノン

東アジアに台湾がない。これは台湾が国連に加盟していないことによる。中華人民共和国を「正統な中国政府」と認めるとしても、台湾の人たちのことを思うと複雑な気持ちになる。東南アジアは、東ティモールを除いて、すべてASEAN（Association of South-East Asian Nations）加盟国である。域内の人口は6億人を超えており、約5億人の欧州連合（EU）より多い。

日本と東南アジアの歴史(大掴み)



クイズ：どこの国でしょうか？（１）



クイズ：どこの国でしょうか？（2）



南洋（東南アジア）のイメージ（ケーススタディ）

1. 観光
2. 料理・食べ物
3. ファッション
4. スポーツ
5. 音楽
6. 伝統芸能
7. 映画、ドラマ
8. 産業
9. 歴史
10. 気候



東南アジアの各国概要

国	一人当GDP (US\$)	人口 (万人)	宗教				言語				民族				首都
			仏教	キリスト教	イスラム教	その他	英語	中国語	マレー語	その他	地元	中華	マレー	インド	
シンガポール	72,794	545	○ (43%)	○ (15%)	○ (15%)		●	●	●	● (タミール)		● (76%)	○	○	シンガポール
ブルネイ	31,723	45	○	○	● (82%)		○	○	●	○ (タミール)		○	● (67%)		バンガル・スリ・ブガワン
マレーシア	11,371	3,278	○	○	● (82%)		○	○	●	○ (タミール)		○	● (67%)	○	クアラルンプール
タイ	7,233	6,995	● (94%)		○					● (タイ)	● タイ族	○	○		バンコク
インドネシア	4,292	27,636		○	● (87%)					● (インドネシア)	● ジャワ他	○	○	○	ジャカルタ
ベトナム	3,694	9,817	○	○		● (民間信仰74%)				● (ベトナム)	● キン(86%)				ハノイ
フィリピン	3,549	11,105		● (93%)	○		●			● (フィリピン)		○	●		マニラ
ラオス	2,551	738	●							● (ラオス)	● ラオ族				ビエンチャン
カンボジア	1,591	1,695	●		○					● (クメール)	● カンボジア人 (90%)				プノンペン
東ティモール	1,463	130		● (99%)						● (テトゥン、ポルトガル)	● メラネシア系、パプア系				デリ
ミャンマー	1,187	5,481	● (90%)	○	○					● (ミャンマー)	● ビルマ族 (70%)				

ASEANとEUの比較

連合	加盟国	人口	1人当GDP (GDP)	GDP	宗教	通貨
東南アジア 諸国連合 (ASEAN)	10か国 (ブルネイ、カンボ ジア、インドネシア、 ラオス、マレーシア、 ミャンマー、フィリ ピン、シンガポール、 タイ、ベトナム)	6.7億人 (44万人～ 2.7億人) * 中国14億人	5千米ドル ミャンマー： 1,200米ドル ～ シンガポール： 73,000米ドル	3.3兆米ドル ↑ 約1/6	仏教、 イスラム教、 キリスト教	各国別
欧州連合 (EU)	27か国 (ベルギー、ドイツ、フランス、 イタリア、ルクセンブルグ、オ ランダ、デンマーク、アイルラ ンド、ギリシャ、スペイン、ポ ルトガル、フィンランド、オー ストリア、スウェーデン、ポー ランド、ハンガリー、チェコ、ス ロベニア、スロバキア、エスト ニア、ラトビア、リトアニア、キ プロス、丸太、ルーマニア、 ブルガリア、クロアチア)	4.7億人 (50万人～ 0.8億人)	38千米ドル ブルガリア： 12,000米ドル ～ ルクセンブルグ： 133,000米ドル	17.9兆ドル	キリスト教	統一 (ユーロ)

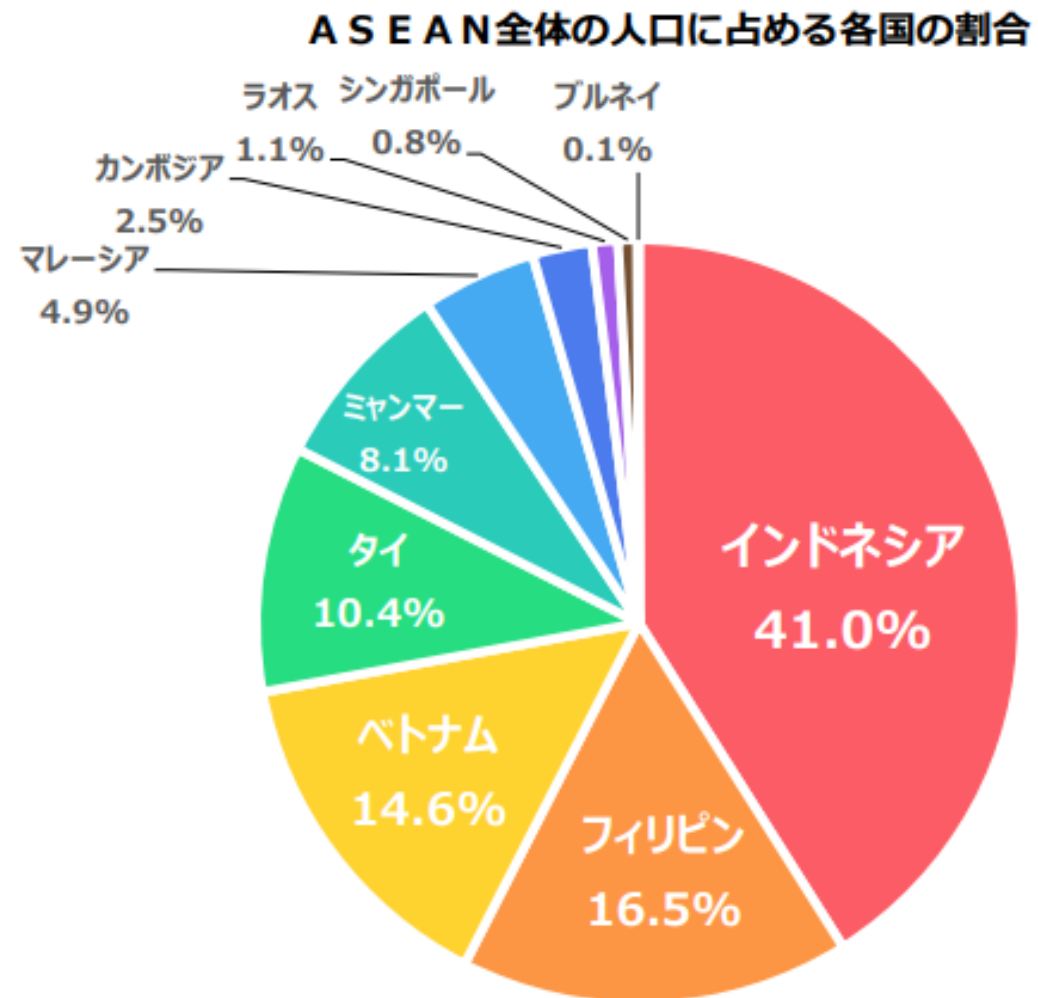
*日本39,000米ドル

ASEANの人口（国別）

（3）人口（2021年）

	人口（万人）	構成比（%）	
		世界	ASEAN内
ブルネイ	44	0.0	0.1
カンボジア	1,695	0.2	2.5
インドネシア	27,636	3.5	41.0
ラオス	738	0.1	1.1
マレーシア	3,278	0.4	4.9
ミャンマー	5,481	0.7	8.1
フィリピン	11,105	1.4	16.5
シンガポール	545	0.1	0.8
タイ	6,995	0.9	10.4
ベトナム	9,817	1.3	14.6
ASEAN	67,333	8.6	100.0
日本	12,568	1.6	
中国	141,236	18.0	
韓国	5,174	0.7	
世界計	783,663	100.0	

（出所） World Bank, World Development Indicators database



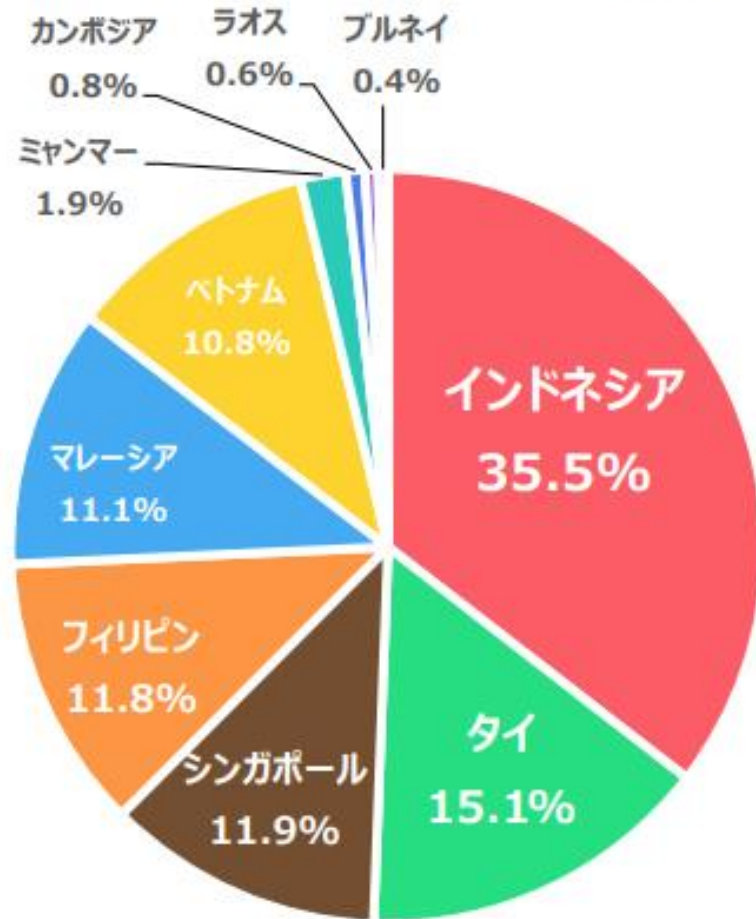
ASEANのGDP（国別）

（４）名目GDP（2021年）

	名目GDP (億米ドル)	構成比 (%)	
		対世界	ASEAN内
ブルネイ	140	0.0	0.4
カンボジア	270	0.0	0.8
インドネシア	11,861	1.2	35.5
ラオス	188	0.0	0.6
マレーシア	3,727	0.4	11.1
ミャンマー	651	0.1	1.9
フィリピン	3,941	0.4	11.8
シンガポール	3,970	0.4	11.9
タイ	5,060	0.5	15.1
ベトナム	3,626	0.4	10.8
ASEAN	33,433	3.5	100.0
日本	49,374	5.1	
中国	177,341	18.5	
韓国	17,985	1.9	
世界計	961,001	100.0	

（出所） World Bank, World Development Indicators database

ASEAN全体の名目GDPに占める各国の割合



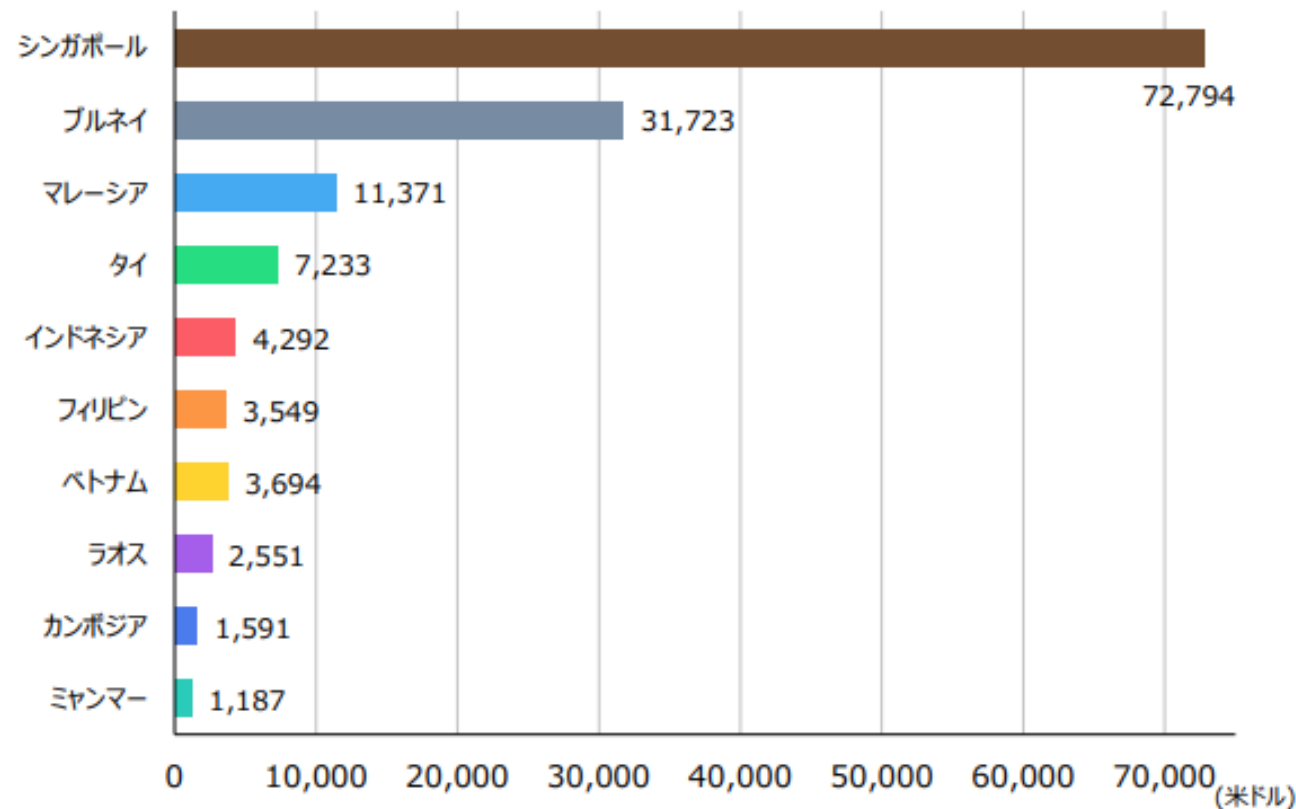
ASEANの一人当りGDP（国別）

（５）１人当たりGDP（2021年）

	1人当GDP (米ドル)
ブルネイ	31,723
カンボジア	1,591
インドネシア	4,292
ラオス	2,551
マレーシア	11,371
ミャンマー	1,187
フィリピン	3,549
シンガポール	72,794
タイ	7,233
ベトナム	3,694
ASEAN	4,965
日本	39,285
中国	12,556
韓国	34,758
世界平均	12,263

（出所）World Bank, World Development Indicators database

ASEAN各国の1人当たりGDPの比較



私の東南アジア感

1. 太平洋戦争の歴史
2. 仏教の風土
3. 農業の景観
4. 生産工場
5. 空気感

南洋（東南アジア）の空気感

■ 金子光晴の『西ひがし』より

乗合タクシーで出発の時間を待って空地にいと、光が盤石の重たさで頭からのりかかってきて、土地の体臭とでも言うべき、人間以外のものまでみないっしょくたになった。なんとも名状 できない漿液の臭気に、この身をくさらせ、ただらせようとかかるのであった。「ああ。この臭い」と、気がついただけで、三年間忘れていた南洋のいっさいが戻ってくるのであった。

（シンガポールからマレーシアのバトパハへ向かう途中のこと）

■ 浜なつ子の『死んでもいい』より

この国のおおらかさ、呑気さ、いいかげんさに触れると、かたくなだった心のどこかが柔らかく、豊かになれる。生きていること自体が楽しくなった。

■ 南洋（東南アジア）から思うこと

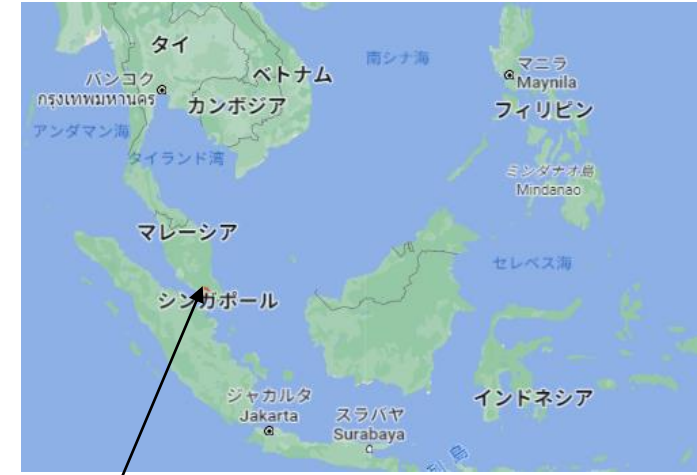
生きることは概念ではない。何のために生きていくのか、自分の存在意義は何か、と問う人は既に生きていける側にいるのだ。生きることはそんな高尚なことではない。取るに足りない日常こそが生にとってはかけがえのないことなのだ。

南国のしあはせバナナあれば足る 仲 栄司

金子光晴とバトパハ（マレーシア）

■ 金子光晴はなぜバトパハを愛したのか

1932年、パリからの帰国途中に再びバトパハに滞在。
放浪の果てにバトパハに過ごすことで、**人間の儚さや無力を
謙虚に受け止め、己に対する執着を捨てたとき、十年近く離れて
いた詩が、突然かえってきた。いわば、金子光晴の再生の地と
いえる。**



バトパハ（シンガポールから140キロ）

長いあいだの放浪の末に自己を失い、そこから自己の存在を認識するという、いわば「無」の認識が究極の「有」へ繋がるということを光晴は体感した。そこにはデカルトの「我思う、故に我あり」という近代の西洋思想はない。それは、**「我なし、故に我あり」という東洋の「無」の思想である。**パリでは生じなかった感覚をバトパハという街、それを取り囲むマレーの風土と再会し、そこに身を置くことで獲得し得たのである。

南洋を舞台とした小説、文学作品（私の好きな作品）

- サマセット・モーム** 「月と六ペンス」： 熱帯と植民地主義
- 金子光晴** 「西ひがし」*「洗面器」（詩）： アジアの空気感
- 山崎朋子** 「サンダカン八番娼館」*： からゆきさん
- 日野葦平** 「革命前後」： 庶民視点での戦争観
- 林芙美子** 「浮雲」： 敗戦の挫折感
- 桐野夏生** 「ナニカアル」： 戦時下の恋愛
- 井伏鱒二** 「黒い雨」「遥拝隊長」： 原爆と戦争被害
- 曾野綾子** 「地を潤すもの」： 不備を生きる、神の存在
- 竹山道雄** 「ビルマの豎琴」： 戦争と生きる価値
- 大岡昇平** 「野火」： 戦争体験（生死
- 角田房子** 「責任 ラバウルの将軍 今村均」*： 軍人の戦後の生き方
- 中島みち** 「日中戦争いまだ終わらず」*： 遺族としての戦争への責任感
- 深田祐介** 「炎熱商人」「暗闇商人」： 商社マンと軍人
- 内田安雄** 「フィピンフル」： フィリピーナにはまる日本人
- 角田光代** 「紙の月」： 男性社会への反発と女性の深層心理

* 旅行記、ノンフィクション